

在宅医療推進のための多職種連携研修会

# 神経難病患者に対する呼吸リハビリテーション

在宅人工呼吸器ユーザーに対する  
治療と仕事の両立

無|料|講|演|会

2025

8.2 (土)



岩沼市民会館

中ホール

14:00~16:00

講演  
1

「在宅NPPV、MIEの活用について」

講師：石川 悠加 医師

(独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター)

講演  
2

「気道クリアランス技術における機械による咳介助(MIE)の  
役割と神経筋疾患の呼吸リハビリテーション」

講師：片山 望 理学療法士

(独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院)

実技指導対象参加患者：幸谷 圭都

(NPO法人 to Right 理事長)

講演  
3

「社会保障制度の利用と患者さんの就労事例」

講師：相沢 祐一 医療社会事業専門員

(独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院)

神経難病疾患の患者様が在宅においての生活を望み、そして働きたいと思う方が増えてきております。その思いを実現するためには治療と仕事の両立が必要となります。その両立を達成する為には安全に在宅生活を送ることが必須であり、それを実現させるためには専門拠点病院と関り、在宅においての専門性の高い人材育成が重要になります。本セミナーは宮城県の県南地域の在宅医療の推進を目指し、患者さんを含めたチームで情報を共有・共同することによる在宅ケアシステムの充実を目指すことが出来ればと考えます。